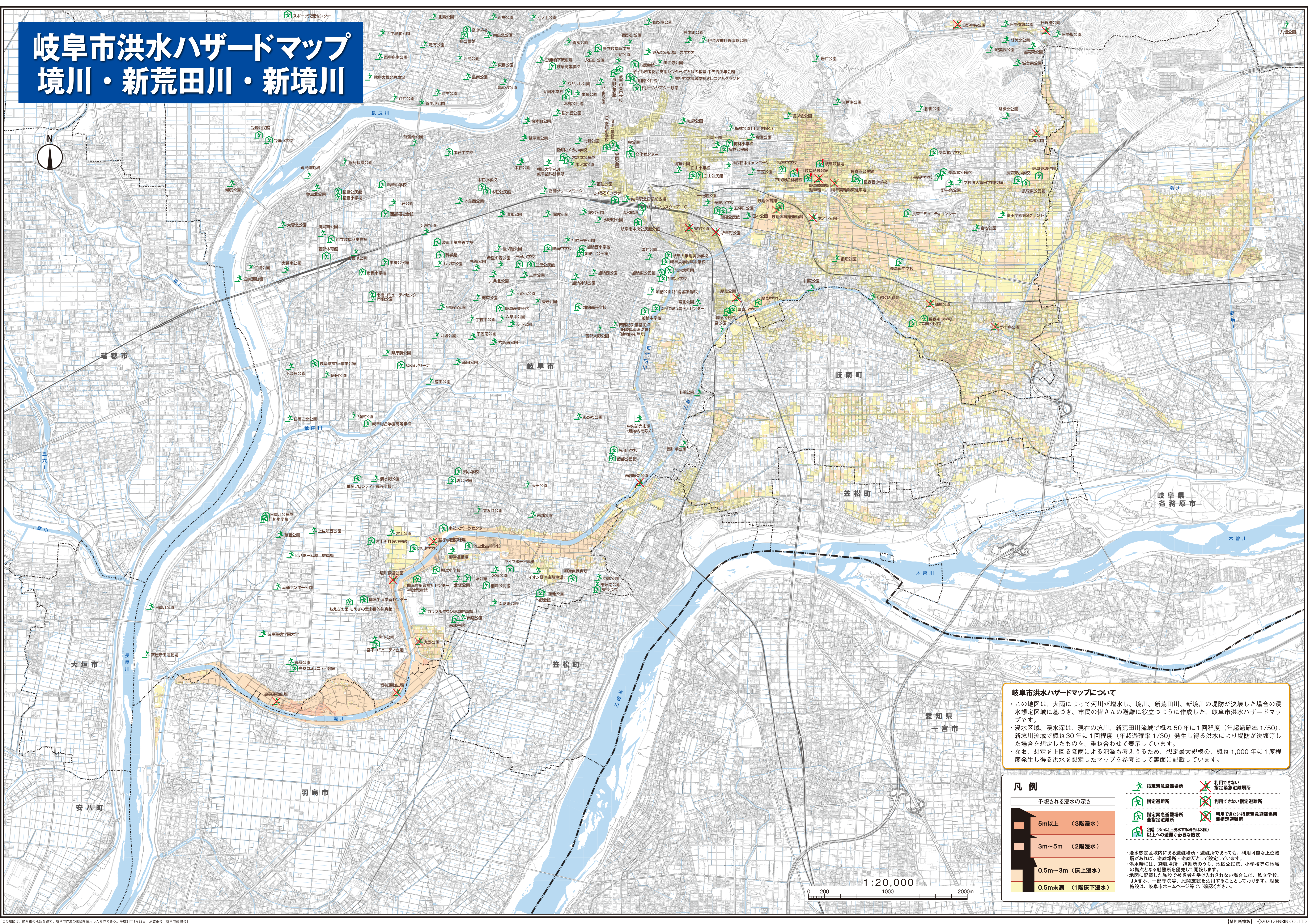


岐阜市洪水ハザードマップ

境川・新荒田川・新境川



岐阜市洪水ハザードマップについて

- この地図は、大雨によって河川が増水し、境川、新荒田川、新境川の堤防が決壊した場合の浸水想定区域に基づき、市民の皆さんの避難に役立つように作成した、岐阜市洪水ハザードマップです。
- 浸水区域、浸水深は、現在の境川、新荒田川流域で概ね50年に1回程度（年超過確率1/50）、新境川流域で概ね30年に1回程度（年超過確率1/30）発生し得る洪水により堤防が決壊等した場合を想定したものを、重ね合わせて表示しています。
- なお、想定を上回る降雨による氾濫も考えうるため、想定最大規模の、概ね1,000年に1度程度発生し得る洪水を想定したマップを参考として裏面に記載しています。

凡例

予想される浸水の深さ	指定緊急避難場所	利用できない指定緊急避難場所
5m以上（3階浸水）		
3m～5m（2階浸水）		
0.5m～3m（床下浸水）		
0.5m未満（1階床下浸水）		

指定緊急避難場所
指定避難所
指定緊急避難場所兼指定避難所
2階（3m以上浸水する場合は3階）以上への避難が必要な施設

利用できない指定緊急避難場所
利用できない指定避難所
利用できない指定緊急避難場所兼指定避難所

・浸水想定区域内にある避難場所・避難所であっても、利用可能な上位階層があれば、避難場所・避難所として設定しています。
・洪水時には、避難場所・避難所のうち、地区公民館、小学校等の地域の施設となる避難所を優先して開設します。
・地図に記載した施設で被災者を受け入れられない場合には、私立学校、JAびか、一部寺院等、民間施設を活用することとしています。対象施設は、岐阜市ホームページ等で確認ください。